

2021年2月12日

各位

会社名 株式会社グローバルダイニング  
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造  
 (コード番号 7625 東証第二部)  
 問合せ先 取締役 最高財務責任者 中尾 慎太郎  
 T E L : 03 - 5469 - 3222

## 特別損失の計上及び通期連結業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2020年12月期において下記のとおり特別損失を計上致しました。また、本日公表の2020年12月期通期連結業績について、下記のとおり前期実績値との差異が生じたのでお知らせいたします。

なお、当社は当該期間に係る業績予想のうち「親会社株主に帰属する当期純利益」については未公表でありましたため、増減につきましては前期実績値との比較になっております。

### 記

#### 1. 特別損失の計上

2020年11月30日付公表の「店舗の閉鎖に関するお知らせ」にて、モンズーンカフェたまプラーザの閉店をお知らせしましたが、同店の閉店後から完全撤退までにかかる家賃等支払見積額10百万円を店舗閉鎖損失として計上いたしました。また、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社所有の事業用資産について収益性の低下が認められたことにより192百万円の減損損失を計上し、第4四半期連結会計期間において計上した特別損失は203百万円となりました。

この結果、2020年12月期通期における特別損失計上額は597百万円となりました。

#### 2. 2020年12月期通期連結業績と前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A) (2019年12月期)	9,610	40	96	△331	△32.40
当期実績 (B) (2020年12月期)	5,667	△1,175	△1,102	△1,509	△147.56
増減額 (B - A)	△3,943	△1,215	△1,199	△1,178	
増減率 (%)	△41.0	—	—	—	

(参考) 2020年10月30日付公表 (C) の連結業績予想との比較

	売上高	営業利益	経常利益
前回発表予想 (C)	5,855	△1,195	△1,125
当期実績 (B) (2020年12月期)	5,667	△1,175	△1,102
増減額 (B - C)	△188	20	23
増減率 (%)	△3.2	—	—

<前期実績値との差異が生じた理由>

2020年12月期においては、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことに伴い、度重なる政府・自治体による緊急事態宣言や自粛要請を受け、一部店舗において臨時休業や営業時間短縮の実施、インバウンドや宴会需要の消滅、そしてライフスタイルの変化によって人の流れが激変し収益改善が見込めなくなった店舗を撤退するなどいたしました。

また、「1. 特別損失の計上」に記載のとおり、撤退が決定した店舗や収益性の低下した店舗において店舗閉鎖損失・減損損失を計上したことから、2020年12月期の連結業績は、前期実績を大きく下回り、売上高 5,667 百万円、営業損失 1,175 百万円、経常損失 1,102 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 1,509 百万円となりました。

以上